

令和5年2月16日

2030釜山国際博覧会の誘致実現へ向けた支援について

大阪府議会日韓友好親善議員連盟

会 長 坂上 敏也

副会長 内海 久子

副会長 須田 旭

2021年6月、韓国・釜山市が、2025年4月に開催される大阪・関西万博の次の登録博覧会の候補地として名乗りをあげた。2030年に開催される国際博覧会（登録博覧会）には、釜山以外にも、オデーサ、リヤド、ローマが立候補し、4都市による競合が見込まれる中、釜山万博では「世界の大転換、より良い未来に向けた航海」をテーマに掲げ、今年秋のBIE加盟国の投票による開催地の決定へ向け、韓国政府及び釜山市による誘致実現に向けた様々な取組みが展開されている。

こうした中、昨年11月には、我が国の日韓議員連盟と韓国の韓日議員連盟が、韓国・ソウルにおいて合同総会を開催され、その共同声明の中で2025年大阪・関西万博の成功と2030年国際博覧会の釜山誘致のため、両議連が最大限努力することが確認された。

また、大阪府に対しても、昨年10月には釜山市長の表敬訪問があり、同年11月には駐大阪大韓民国総領事の表敬訪問があるなど、各種機会を通して、2030年釜山国際博覧会の誘致実現へ向けた要請等がなされているところである。

大阪には、在日韓国人の約2割の方が居住される等、日本国内でも特に同国との関係が深く、また、大阪市をはじめ府内市町村の中には同国の都市と友好提携を結ぶなどの交流が図られてきた。

さらに大阪府議会では、韓国との友好交流を一層促進すること等を目的とする「大阪府議会日韓友好親善議員連盟」を平成4年2月に設立し、研修会や釜山も含めた現地への行政調査を行うなどの活動を行ってきた。

このような中、2025年に開催される大阪・関西万博を引き継ぐ形で、隣国の韓国・釜山において国際博覧会の開催が実現することは、我が国・アジアのみならず世界中からの万博に対する関心を一層高め、成果の継承を円滑にし、開催効果の持続化にも繋がるものと期待される。

こうしたことから、国におかれては、2025大阪・関西万博の成功に向けた機運醸成等の一層の取り組みと併せて、2030年の国際博覧会の開催地が韓国・釜山となるよう必要な支援を強く要望する。

本日の出席者

大阪府議会日韓友好親善議員連盟役員

役 職	氏 名 会 派 名
会 長	坂 上 敏 也 大阪維新の会大阪府議会議員団
副会長	須 田 旭 自由民主党大阪府議会議員団
事務局長	泰 江 ま さ き 大阪維新の会大阪府議会議員団